

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハッピーテラスと野本町教室		2026年3月31日				
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	スペース自体は狭いように感じるが、時間での入れ替え制をとっているため子供一人が使えるスペースは十分広く確保されている。	時間帯やタイミングによっては、粗大活動の範囲に制限が必要になることがあるので、職員同士で密に共有し、できる限り広いスペースを確保することができるようにしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	基本的に1対1での関わりのため適切に対応できている。	急な欠勤などにより、利用者に対して人員が少ない日もあるため、予測した人員配置を行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	角には緩衝材を置くなど、衝動的に壁にぶつける等しても大きな怪我には繋がらないよう安全面に十分配慮している。	利用者が活動しやすく、より分かりやすい環境となるよう、生活空間の構造化や環境設定について引き続き検討し、必要に応じて見直しを行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	トレーニング室には基本的に物を少なくし、適宜必要な物品を持っていくことで集中力を妨げることがないように配慮している。	利用者がより快適に過ごせる環境となるよう、清掃や整理整頓を継続するとともに、活動内容や児童の状況に応じて空間の使い方を定期的に見直ししていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		気持ちが落ち着かない子供に対し静養室として使える個室を用意している。	引き続き、継続してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		定期的な教室会議を行い、職員がそれぞれ感じていることの問題提起、実施、改善を行っている。	引き続き、継続してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年度ごとの評価に加え、保護者席にいつでも意見を言ってもらえるよう意見箱（QRコード読み込み式）を設置している	引き続き、継続してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		教室会議において、教室運営に関わらず様々な意見交流をする機会を設けている。	引き続き、継続してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	外部評価の実施はないが、FC元の定期的な査察により、コンプライアンス部門や書類の整備、支援内容の改善に関するアドバイスを頂いている。	業務改善においては、管理者だけでなく全職員で取り組み様々な意見も取り入れながら実施していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的な社内研修に加え、外部研修への参加もしている。また、外部研修に参加した職員が社内にて再度研修を行うことで全職員の資質向上に努めている。	引き続き、継続してまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPにて公開している。	引き続き、継続してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメント面談に加え、日々の利用のFBにて聞き取り、職員間で話し合いながら計画作成に取り組んでいる。また、利用時以外にも相談支援としてゆっくりと話すことができる仕組みを設けている。	引き続き、継続してまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケース会議にてそれぞれの職員が意見を出し合い、認識を合わせた上で本案として決定している。	引き続き、継続してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		日々のアセスメント記録を残す中で計画それぞれに対し評価を行っている	引き続き、継続してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		計画に対する評価と共に評価に沿わない行動、言動が見られた際には別途アセスメントを行っている。	引き続き、継続してまいります。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援以外にも子供に合わせた状態で計画の立案、実施を行っている	引き続き、継続してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員それぞれの得意分野で意見を共有することで子供が楽しみながら取り組めるプログラムを実施している	引き続き、継続してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		直近数回でどのようなトレーニングを行ったのか確認してから立案している。子供に合わせ、意図的に固定化することもあるが基本的には多様なトレーニングを実施している	引き続き、継続してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		運動は合同で机上活動は個別など、その日の狙いや計画に合わせて適宜最適な支援を行っている	引き続き、継続してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		イベントなどの小集団トレーニングの際は、事前に他職員に対しても内容を共有を行い安全に過ごすことができるよう意見交換を実施している。	業務時間の兼ね合いもあり、毎時間打ち合わせを行っているわけではないがその日の内容を支援前にWEBツールを用いて共有し、相互確認できるようにしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	基本的に翌日になるが、時間が出来た際には当日利用者の様子を職員間で共有している。翌日にはの朝礼にて前日の利用者の様子を共有している。	業務時間の兼ね合いもあり、毎時間打ち合わせを行っているわけではないがその日の内容を詳細に記録に残し、回想できる環境設定を行い、相互確認できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	4	計画に対する評価、その日の言動、行動、FB時に保護者の方からいただいた意見を毎支援後記録に残し、計画の見直しやプログラムの改善を行っている	支援時間の関係上、当日が難しいことがあるので翌日に行っていることがあるため、可能な限り当日に行うことができるよう環境作りに努める
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	最低6か月に1度、要望や子供の状況に応じて定期的に行っている	児童の成長や状況の変化に応じて、より適切な支援につながるよう、引き続きモニタリングを行いながら計画の見直しや支援内容の検討を行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		地域交流の機会の提供以外は日々のトレーニングで行っている。地域交流では、誘致されたイベントへの製作物の出展や近隣公園へのお出かけなど、機会提供の場を作っている。	引き続き、継続してまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		その日に行うトレーニングを子供と確認してから実行に移す中で、子供から適切な形で要望の発信があれば受け入れるなど、自己決定に重点を置いて支援している	引き続き、継続してまいります。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		管理者や児童発達支援管理責任者、その子供との関わりが深い職員などが参加している	引き続き、継続してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		児童相談所をはじめ、子供の主治医との情報共有など多角的な側面から支援を行えるよう整えている	引き続き、継続してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		関係機関連携として、授業見学に行き、その後情報共有を図ることで子供に対する相互理解を深めると共に密に連絡が取れるよう働きかけている	引き続き、継続してまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者の方の許可があればそれぞれの保育園や以前通っていた児童発達支援事業所に連絡を取り、情報共有を受けている	引き続き、継続してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		保護者の方、及び本人からの希望があれば情報提供を行っている	引き続き、継続してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		センター主導の研修などに参加している	引き続き、継続してまいります。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	公園にお出かけするなどして地域の子供と同じ空間で活動する機会は作っている	回数としては多くないため、長期休みなどに積極的に実施していく。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	地区の協議会には積極的に参加している。	主に管理者が出席することが多いので、他職員も参加できるようにしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々のトレーニング後などに情報共有や相談業務などを行っている、	引き続き、継続してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		定期的にペアレントトレーニングを行ったり(今年度は3月と9月に実施)要望に合わせて面談を行っている	引き続き、継続してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		ご契約時に書面と口頭にて保護者様と一緒に確認をしている。放課後等デイサービスへの移行時にも説明を行っている。	引き続き、継続してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者の方の意思を尊重しながら、将来性を見極めたうえでその時に必要な支援をご提案し、確認、了承の上支援している	引き続き、継続してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		本案ができた際には計画を書面で見せながら口頭でご説明することで相互認識を図り、同意、署名を頂いている	引き続き、継続してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		トレーニング後にお伺いすると共に、ゆっくりと時間をかけた方がよい内容の時には後日面談を行っている	引き続き、継続してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	ペアレントトレーニングと共に保護者説明会を開いたり(今年度は3月と9月)、トレーニング観覧時に意見交流できる環境を整えるなど、ご希望があれば行えるよう場面設定している	長期休み時に開催するなど、より参加がしやすい時期に実施できるようにしていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情、ヒヤリハットが起こった際には再発防止に努め、改善策を講じている。公にどんな苦情が寄せられたかではなく改善案を掲示することで周知に努めている	引き続き、継続してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インターネット媒体での定期的な発信と共に教室内のボードにて情報発信している	引き続き、継続してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人ファイルや職員のパソコンなどは鍵付きのキャビネットにて厳重に保管している	引き続き、継続してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子供との会話の中で誤解が生じていそうな場合には本人だけでなく保護者の方に経緯の説明と職員の意図をご説明することで意思の疎通を図っている	引き続き、継続してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	9月に誰でも参加が可能なイベントを実施している。その際にペアレントトレーニングなども実施している。	事業所に通っていることを隠している方もいらっしゃるため最大限の配慮をしつつ、交流が広がるような企画を設定していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		ご契約時に書面と口頭にて一緒に確認している。訓練においては、イベントにて実施利用者と共に職員も参加型で行っている	引き続き、継続してまいります。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的な教室会議、実践研修を行っている	引き続き、継続してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		ご契約時に加え、年度初めに変更がないか確認してもらっている	引き続き、継続してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーがあるお子さんには提携医療機関と本人のかかりつけ医に即時連絡が取れるようまとめている	引き続き、継続してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的な教室会議、実践研修を行っている。また、安全計画に沿った日々の点検や設備点検も実施している。	引き続き、継続してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		ご契約時に書面と口頭にて一緒に確認している	引き続き、継続してまいります。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	事業所内だけでなく社内で共有することで様々な場面に対応し、他教室で行ったことも起こらないよう努めている	引き続き、継続してまいります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	定期的な教室内会議、実践研修を行っている	引き続き、継続してまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	ご契約時に説明すると共に個別支援計画に記載。また、子供の状況を見て虐待防止委員会にて必要性が認められた際には別紙を作成し、保護者の方に直接ご説明している	引き続き、継続してまいります。